

別館

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	11	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者一人ひとりの生活、暮らしを基に障害を抱えてもその人らしさを重視し取り巻く環境を踏まえた理念になっている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念が単なるものとならないよう、会議等で折に触れて具体的に確認を行っている。生活援助計画を立案する際にも理念を基に行っている。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方への説明会を行っている。家族が来訪時、生活に必要な事を根拠とともに話し合っている。日々の活動内容やその結果についても来訪時に伝えている。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		2	
		2	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	畑で取れた野菜や果物のおすそ分けをしている。地域の会合や老人会の集まりに管理者が参加し、近隣の方々と交流を続けている。散歩時など挨拶は交わすが、立地の兼ね合いもあり近隣の方々とそれ以上の交流はない。	0
		5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会での説明、町内清掃活動への参加、地域のお祭りへの参加を通じて交流を図っている。また、併設施設との協同の夏祭りでは会場を地域の方々に開放し、楽しんでいただくと共に利用者・ご家族・職員・地域住民間で交流を図っている。	0	年間を通じて町内、自治会の活動をすすめ交流を深めていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 の い の	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人会より医療や介護について勉強会を行って欲しいとの要望があり、勉強会を開催したり、また老人会のバスはバイクの支援を行うなど地域貢献に取り組んでいる。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		5	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年1回の外部評価を受けている。評価の内容は真摯に受け止め、会議などで話し合い、職員間で共有している。	0	
		8 外 部 評 価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価の結果を会議等で報告し、話し合いを行っている。まだまだ十分ではないが、少しずつ改善している。	0	
		9 外 部 評 価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問が生じた時のみ電話にて聞いている。	1	電話だけで用件を済ませるのではなく、足を運び質の向上に努めたい。
		10 外 部 評 価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会・研修会へ参加している。制度の利用が必要な方や、情報を知りたい人にはその都度支援を行っている。また職員も制度について学ぶことができるよう資料を回覧したり、勉強することができる機会を設けている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士話し合える機会を設けている。また勉強会も行っている。入浴や衣類の着脱時には全身を観察し、虐待の事実等ないか確認するよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		1	
理念に基づく運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約には十分な時間をとり、ご家族の不安がなくなるまでお話を伺い、契約についての説明を行い理解を頂いている。事前に想定されることや、ハウスでの生活の様子など事例を交えてお話をさせて頂くことで安心感を得て頂いている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者より相談を持ちかけられた際には、管理者や職員がお話させて頂いている。また居室や入浴時など、リラックスした空間の中で、職員から働きかけ入居者の素直な意見を伺うことにも努めている。寄せられた苦情や不満に関しては真摯に受け止め、職員で協議し問題を共有するとともに、改善策を話し合い実施している。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会や来訪時に状態を報告している。また、担当職員が中心となり毎月写真つきで手紙を書いて伝えている。2ヵ月ごとにグループホーム全体のお便りを発行している。急変時には速やかに連絡させて頂いている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人内にも苦情相談窓口を設けているが、定期に行っている家族会でも不満や意見を表せる場を設けている。またユニットごとに意見交換を行える場を設け、意見を募っている。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の全職員参加のミーティングの他にも、度々顔を合わせて現場職員の声を聞き、運営に反映させることが出来るよう努めている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		1	話し合い調整を行っているが、現状に適した形とは言えない。どのような体制が必要なのか今後も検討していく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18 外部 評価 10	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニットごとに職員を固定し、移動を必要最小限に抑える努力をしている。離職等で職員が交代する際には、以前より関わっている職員を中心に、利用者のダメージが最小限になるよう努めている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			1	
	5 人材の 育成と 支援	19 外部 評価 11	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用において性別、年齢、経験等での選別は行っていない。配属に関しては本人の個性や、配属先の状態に応じて行っている。	0	
		20 外部 評価 12	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権啓発週間に合わせて講演会・研修に参加している。参加出来なかった職員には、参加した職員からの報告発表の機会を設けている。	0	
		21 外部 評価 13	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修、リーダー研修、その他研修に参加できるよう機会を設けている。職員の経験年数や適性を見極め、必要に応じた研修を受けることが出来るように勤務調整をするなどし、「学ぶことが出来る」環境作りに努めている。	0	
		22 外部 評価 14	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県GH協議会の活動を通じ、近隣の同業者と勉強会を行ったり、情報交換をしている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		1	GH協議会の相談窓口の紹介や親睦会を行っているが、ストレス軽減には十分ではないため、更なる取り組みが必要である。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員が入居者の担当を受け持っており、責任、達成感を実感できるようにしている。仕事内容、活動内容について日頃から話し合っている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)					1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			0	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前、入居前に面談を行い本人の声に耳を傾け確認を行っている。日常生活(食事や散歩、団欒)の中でご本人から出された信号を職員全体で情報共有し、話し合いの中でニーズを探していく。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の声を傾聴し、安心して利用して頂けるまでお話をさせて頂いている。来訪時だけなく、電話でも対応させて頂いている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ほんわかハウスの利用だけでなく、ご本人のニーズを把握したうえで適切なサービスの紹介を行っている。	0	
		28 外部評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前にハウスを見学して頂いている。馴染みの家具等を少しずつ搬入し、その都度状況に合わせている。場合によっては自宅を歩き来しながら時間をかけている。状況によっては、ご家族と一緒に泊まって頂くこともある。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			1		
係り2 継続これ 新たな 関係の 支援 開く	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りや洗濯物たたみなど一緒に行いながらコミュニケーションをとるように心がけている。雑巾やゴミ箱など必要な物を一緒につくっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には、日ごろの生活や体調などを伝え、利用者の方も交えて会話を楽しんで頂いている。家族の思いを大切にし、家族無しでは入居者様の生活は成り立たないことを説明し、ともに関係を深めている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者の方の誕生会や夏祭りにご家族をお誘いし、楽しい時間をみんなで共有できるようにしている。双方の重いを大切にし、お伝えする時は表現や言葉に気をつけている。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人にとっての馴染みの場所へ出かけられるよう外出の機会を設け支援している。自由に連絡が取れるよう電話も利用していただいている。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が関係を築けるよう、協働作業や外出、会話など必要に応じて職員が間に入り橋渡しをしている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		1	契約が終了してもそれまでに築いた関係を続けていけるよう手紙や電話などで連絡をとってきたい。
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			0	
	1	35 外部評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人がどのような生活を望んでおられるのが日頃の会話や行動などから把握したり、内容や状態に応じて直接お聞きしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人が口にされる思い出話や行動などについて記録に残し、職員間で情報を共有することで把握に努めている。又ご家族やお知り合いの方にこれまでの様子をうかがっている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員一人ひとりが生活記録に記録をし、全員で把握できるように努めている。それを基にミーティングで評価、考察を行い総合的な把握につとめている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)			0	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者はミーティング時等で様々な職員から意見を聞いたり、ご家族の希望をうかがい、ご本人の望みをくみ取りながら総合して介護計画を作成している。又医療との連携を図り主治医の意見を聞いたり、ご家族を交え話し合いの場を設けている。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の生活記録や普段の生活の様子から、ご本人にとって今何が必要なのかという視点を常に持って関わる。介護計画の有効期限に関わらず必要に応じて見直しを行っている。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に朝、昼、夕、夜間帯の記録を残しケアプランチェック表へのチェックを行い、その都度、又ミーティング時に確認し口頭やメモなどでも情報のやりとりをしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)			0	
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その都度話し合いの場を設け、関係各所と連携して支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)		0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの受け入れを行っている。	0	
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	法人内外と連携を図っている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議を活用し情報交換を行っている。	0	
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制を整え、常に医療機関と連携して支援している。医療連携日誌を活用している。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医とよい関係作りが実現しており必要に応じて受診している。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診日以外にも、協力医療機関の看護師と連携をとり必要に応じて相談している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時より担当医、看護師等と連絡を取り早期に退院できるよう努めている。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にご家族からの意向をお聞きして文章化している。状態の変化に応じ、今後予測されることを含め協議して、その都度意向を確認している。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療連携日誌に状態を記録し、担当医、看護師に報告の上、準備を行っている。またユニットのできる力を見極め、ミーティング等で話し合い準備している。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前よりご自宅を訪問するなどして話し合いを行っている。また住み替えにより受けるご本人のダメージを、極力最小限に抑えることができるように配慮している。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)					1	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)			0	
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録類は専用の棚で管理している。個々の生活歴に応じた声掛け、対応を行っている。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	質問の形で問いかけたり、提案の形を取り利用者の意思を尊重しながら自己決定を促している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者個々の希望、ペース、一日の流れを把握し支援している。天気に関係なく外出することもある。行きつけていたスーパーや菓子店等へ出かけている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)		0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出などの際には化粧などおしゃれをしていただき、ご本人のお好きな洋服を選んでいただいている。散髪は、利用者の方の希望や体調に合わせて外に行ったり、床屋に来てもらっている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜切りやつぎ分け、など利用者の方々と一緒につくることを心がけ、個々のできる力を活かしながら関わっていただいている。	0	現在、朝食と週に2回の昼食づくりしが行っていない。入居者の方の状態を見極めながら夕食づくりの再開、あるいは昼食づくりの日を増やす方向をミーティング時に話し合い検討していく。
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個人個人の嗜好が異なるので個別に対応させて頂いている。買物に行きご自分で選んで頂いている。またアロエ酒を作り楽しんで頂いている。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	状況によってはオムツを使用されているが、極力自然な形で排泄していただけるよう、排泄パターンを把握したり、各自のサインの把握に努めている。	0	状態の把握に努める。
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴が出来ていない日が続かないように、タイミングを見て入浴を楽しんで頂けるように支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者それぞれの生活リズムに合わせた就寝、起床時間で支援している。廊下に椅子やソファなど休憩場所の確保をしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)		0	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ドライブが好きな方が多いので、出来る限り海や山に出掛けて季節を感じて頂きながらリフレッシュして頂いている。炊事、洗濯、掃除は個別に役割を持ち、日常的に行って頂いている。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族に説明の上、了承を得てご本人の希望に沿って買物に出掛け、買物の支払いも行って頂いている。難しい場合はホームで立替させて頂いている。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や畑仕事、買物などに少しでも多く出掛けて頂けるように支援している。ご本人より外出の希望があった際には、極力希望に添えるよう最大限の努力をしている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じて、花見、紅葉狩り、海、滝、森林浴など外出の機会を設けている。また野球観戦等にも出向いている。自宅へ帰宅される際には、タクシーの手配や送迎の支援を行っている。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に利用して頂いている。手紙を書く要望がある際には、書くところから投函までを必要に応じて支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	居室や団樂の場を設け、台所なども開放し気軽に足を運んで頂いている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)				0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束を行わない介護を実施している。	0		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームが2階にあるため、階段がる危険箇所等は施錠しているが、入居さんが動かれたときには自由に出入りをして頂けるように努めている。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室におられる際にも巡視し、状態の把握に努めている。トイレに入られている場合などは声かけをしている。目隠しや、カーテン、暖簾等でプライバシーに配慮している。夜間は1時間ごとに巡視をしている。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	やむを得ず置いておけない場合のみ、置き場所を変更している。	0	個人の裁縫道具など使われているときは適切に使っているか観察を行っている。一人では難しい方は職員が見守り一緒に作業することで安全に楽しんでいただいている。	
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを準備して。外部研修への参加や勉強会を行い、事故報告書、ヒヤリハットに全員目を通し、ミーティング時に再発防止に向けて協議している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1年に1回内部研修を行い、2年に1回消防署での救命救急講習を受けている。	0	
		73 外部 評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消火避難訓練を行っている。併設の施設との協力体制は出来ており、消防署との連携も図っている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	離園、転倒をはじめ様々な予測される事故等を説明させて頂き、普通の暮らしの中に考えられるリスクについて説明し同意を得ている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)		0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝の血圧測定を行い、体調不良が見られれば、速やかにドクターへ連絡を行っている。日頃の状態から注意し体調の変化を見逃さないようにしている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の処方箋は個人ファイルに納めてあり、誰でもすぐに目を通せるようにしてある。また変更時は記録に残し、皆が目を通して。処方されている薬を一覧表にまとめ、処方目的、用法、用量、副作用を明記している。その他、追加変更事項を医療連携日報にて確認している。	0	
77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立表を作成する際、便秘の予防につながる作用のある食材の導入を行っている。水分摂取や適度な運動に気を配っている。その他、腹部マッサージの実施。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必要に応じて週1回の往診を受けていただいている。また歯科衛生士より指導を受け、職員も実施している。	0		
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考え、1日・1週間・1ヶ月の単位でメニューを作成し、栄養士に相談しながら食事の提供をしている。	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種の施行。マニュアルを作成し、全職員が周知した中でケアを行っている。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	時間の経過した食事は提供していない。ふきん、まな板、その他調理器具は毎日消毒し、食器類も乾燥機にかけている。食材は新鮮なものを購入し、賞味期限の確認も行っている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)				1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)				1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている			1	玄関のドアや鍵などを検討している。花をもっと植えたい。
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下・リビングに季節の花を飾っている。カーテン、障子で調整している。		0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置き、そこで利用者同士お話しすることができる場所を設けている。	0		
		85 外部評価33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人が使っていた物やお好きな物を置き飾っていただいている。バックグラウンドアセスメントを基に家具や物品を活用している。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温・湿度計を使用して換気をこまめに行い、特に夜間は室温調整に気をつけて見回りを行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)				0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベットの高さや家具の配置、補助具等個別に対応している。廊下に椅子やソファを配置し休憩できるようにしている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	表示方法や説明方法を一人ひとりに合わせて工夫し提供している。表札、日めくりなど個別の暦なども準備している。	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に畑があり、一緒に種をまいたり、手入れ・収穫を行っている。ベランダにプランターで花を育てている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。